

沖縄発!持続可能な特許技術で切り拓く企業連携による国内・南米市場開拓戦略プロジェクト  
(「南米日系連携ガジマルネットワーク」)

プロジェクトチームの  
目的

リュウクスは、バイオマス灰を活用した土壌改質材「大地のガジマル®」を開発し、国内外へ展開することで環境負荷低減と資源循環を目指しています。特に、南米ボリビアでのインフラ整備に活用し、県系人とのネットワークを通じて技術協力・国際協力も推進します。

解決したい課題

- ・沖縄県内の企業が持つ特許技術を活かした製品の販路拡大と新たな産業創出
- ・県内企業の技術を活かした発展途上国（ボリビア）へのインフラ整備支援やスタートアップ支援
- ・ウチナーネットワークを活用した新たなビジネスモデルの創出

関連するゴール



活動  
期間

令和7年9月～令和8年8月  
(以降継続を検討)

おきなわSDGsアクションプランとの関係性

優先課題④ ④－4  
優先課題⑫ ⑫－1

科学技術・イノベーションにより、健康・バイオ・医療関連分野等において、新たな産業等が創出され、持続可能な産業の振興を実現する。  
沖縄の技術や経験を世界各地に発信・共有することで国際貢献を促進する。

活動内容 及び 期待される成果

- 活動①ボリビアへの調査訪問（テスト施工事前調査、特許技術テスト当）
- 活動②調査結果検証（テスト施行準備、機械の施策等）
- 活動③現地でのテスト施工実施、人材育成セミナー実施
- 活動④次年度以降に向けた取組（新規販路開拓に向けた製品・技術開発等）



・「大地のガジマル」をはじめとしたリュウクスが持つ特許技術や生産拠点を県系人とのネットワークを活かしてボリビアに展開することで、環境負荷低減が期待できる資材を活用し、ボリビアの社会課題解決に向けた取組を促進することが期待できます。

・沖縄の企業が持つ特許技術を活用し、海外（南米）展開することで新たなビジネスモデルの確立を目指すほか、技術を現地の若者に学んでもらい、ボリビアでのスタートアップや技術移転等を支援することで、沖縄らしい国際貢献の取組を促進します。

・ウチナーネットワークを活用した新たなビジネスモデルを創出することにより、沖縄県の地域外交推進方針にある「多様な国際ネットワークが結びつくグローバルビジネス共創拠点」の端緒となることが期待できます。

プロジェクトチームのイメージ

🌍 **想いと背景：沖縄から南米へ、技術と心を届ける**

沖縄県出身の移民が築いてきた南米日系社会は、長年にわたり現地社会に貢献しながらも、気候や経済格差、インフラ未整備などの厳しい環境に直面してきた。

本プロジェクトは、単なる製品販売ではなく、「**沖縄の技術**」と「**南米の資源・人材**」をつなげる**社会共創型ビジネスモデル**である。特に、沖縄企業が持つ**日系社会との信頼関係**や**文化的親和性**を活かし、以下のような多面的価値の提供を行う。

🇯🇵 **日系社会との連携による共創**

- ・若者の人材育成や技術研修の受け入れ
- ・双方向の交流
- ・現地雇用の促進
- ・共通の価値観(持続性・助け合い)に基づく地域貢献

🔧 **技術と経済性の両立**

- ・沖縄の特許技術による高機能かつ低コストの建設資材提供
- ・災害対策・インフラ整備による地域安全保障への貢献
- ・地場資源の活用による現地型サプライチェーンの創出

🌿 「人と人、地域と地域、技術と未来をつなぐ架け橋になる」